

第2回研修会

8月6日（金）に浜松市総合産業展示館にて、第2回学校図書館研究部研修会が開催された。新型コロナウイルスまん延防止等重点措置が適用されたため、午前中開催とし、感染症対策を講じながら行われた。

小学校では第3回授業研究の検討を行い、中学校では浜松市教育委員会指導主事の松本氏に講話をしていただいた。

【小学校】

《体育科》安全リーフレットを作ろう「けがの防止」

「伝え合う」ことに焦点を当て、けがの発生要因やその防止の方法について自己の経験を基にグループで話し合ったり、けがの悪化を防ぐ正しい手当の方法について資料を基にペアで選んだり実践したりする活動を行う。

けがを防ぐための対策は教科書でも調べることができるため、図書資料や動画などを使って調べる必要感をいかにもたせることができるかが大切であるという意見が出た。



《国語科》びっくり生き物事典を作ろう「ありの行列」

「自ら学び、共に創り出す子」を育てるために、科学読み物を読み、分かったことを交流することを通して、物事の新しい見方や考え方に気付く力を育成することをねらいとする。そのために、生き物の疑問に対する答えを紹介する生き物事典を作成するという課題を設定する。関心をもたせるために、科学読み物を使うことによって生き物の疑問を解明できることを紹介する。子供同士の考えの違いを比較し、思考の整理ができるように、複数の思考ツールを活用する。

グループ交流の効果的なやり方、主体的に図書を活用するための方法について、話し合った。



【中学校】

講話：「これからの時代の学校図書館」

講師：浜松市教育委員会指導主事 松本 真美子氏

学校にとって学校図書館とはどうあるべきか、今求められている資質・能力と学校図書館とのつながりを説明していただいた。学校図書館が「読書センター」「学習センター」「情報センター」という三つのセンター機能を持ち、それらを充実させるための手立てを考える機会となった。また、今求められている資質・能力と学校図書館とのつながりでは、学校図書館のもつ機能を発揮させ、読書活動の充実が必要だというお話をいただいた。

